

JAMトピックス

JAM第47回中央委員会

春闘要求 ベア相当分

17,000円以上

満場一致で決定



春闘勝利！ 衆議院議員選挙必勝！ 一致団結してガンバロー

JAMは賃金改善分（ベースアップ相当）17,000円以上とし、JAM一人前ミニマム水準設定として30歳27万円、35歳29万5千円、平均賃上げ要求・賃金構造維持分4,500円に17,000円以上を加え21,500円以上などとする「2026年春闘方針」を決める第47回中央委員会を1月16日に東京・連合会館で開催した。

一般活動報告、会計中間決算報告・監査報告と3本の議案それぞれを満場一致で確認した。

安河内賢弘JAM会長は「私たちは3年間で、ステージを変える春闘結果を勝ち取ってきた。しかし、日本の賃金水準はアジアでは5番目であり、トップのシンガポールと2位の香港の半分である。

(日本の)下に迫っているマレーシア(6位)は毎年5%賃金上昇しているので、近い将来抜かれるのは確実である。また、この3年間で規模間格差はさらに大きく広がり2025年春闘の結果では、大手と中小で格差がさらに開いてしまった。JAMはあらゆる格差を許さず、社会的公正労働基準の確立をその理念に掲げ、運動を進めている。決してあきらめることなく、プレずに格差は正に取り組んでいかなければならぬ。価格転嫁の取り組みでは、ドイツ並みの90%まで上げていかなければならぬ。JAMが先頭に立って価値を認めあう社会の実現に向けて、ものづくり国会議員懇談会の仲間と共に強力に政治を動かしていくので、単組の皆様にも力強い要求を堂々と掲げてほしい」などとあいさつした。

来賓のJCM・金属労協・金子晃浩議長、JAM組織内議員・郡山りょう参議院議員、準組織内議員・森本しんじ参議院議員、同村田享子参議院議員からあいさつを受けた。JAM組織内議員・おおたけりえ衆議院議員は公務のため欠席し、音声メッセージが披露された。

議案審議後には、第51回衆議院議員選挙勝利に向けた特別決議として、JAM組織内候補者の「おおたけりえ」氏と「ものづくり国会議員懇談会メンバー」全員の再選が、「ものづくりの現場の声」を衆参両院で国政に伝えることに直結するとJAM全組合員の総意として確認した。

参加は中央委員、役員・地方書記長・傍聴など約250人。



国会議員となって初の中央委員会
あいさつする郡山りょうJAM
組織内参議院議員



中央委員会議長を務めた
左から・森田美紀さん（コマツ本社営業所
支部・JAM東京千葉）、佐野祐大さん
(カワイ労組・JAM静岡)